ゆりぐみだより

２０２４年度　１月号

尚徳福祉会　おぐら保育園

あけましておめでとうございます。

お正月休みをそれぞれのご家庭で楽しく過ごされたことと思います。卒園まで残すところあと３か月となりましたが、みんなで日々楽しい思い出を作っていきたいと思います。

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

☆年長交流会☆

他園の年長児と交流をしました。以前、保育まつりの時に顔合わせをしていたことで『〇〇くんのところ？』『いつくるの？』と楽しみにしていました。

当日は『〇〇くん、久しぶり』と再会を喜んでいました。園庭で一緒に遊んでいくと、男児はかけっこやボール遊びをしたり、女児はマットをひいてお話や、砂場で遊んだりしていました。最後にドッチボールも行い、ルールがわからない子には優しく教えていました。交流をしていくうちに『小学校同じだね』『同じマンションだね』とすぐに仲良しになっていました。交流会が終わると『今度はいつ来てくれるかな？』と次回会えることを楽しみにしていました。

☆ 鏡もち作り☆

鏡もち作りの由来（みんなのお家が神様にわかるために）を伝えると『そうなの？なら鏡もち大きく作ろう』と話をしていました。まずはお米から餅に変わる様子を見学すると『いいにおいするね、おいしそう』とすぐに『食べたい』と言っていました。餅を、鏡もちの形に手でこねている時も『おいしそう』という声が聞こえてきました。餅をバランスよく二段にする子や、パパママの分まで作ろうとする子が見られました。作り方にこだわりが見られ、保育者が『これで完成？』と聞いても『まだここが』と職人さんのようになっていました。完成した鏡もちをカップの中に入れて満足そうな表情で眺めていました。

☆沢山の拍手を自信に☆

１２月に入ると『もうすぐ発表会だね』と楽しみにしていた子どもたち。初めて衣装を着た時、女の子たちは鏡でこっそり見たり、男の子たちはお互いの衣装を褒め合ったりして、どの子もやる気満々、早くお家の人に見てもらいたいと話していました。他クラスに劇や合奏を見てもらうと恥ずかしさでいつも以上に声が出ませんでしたが、子ども同士で『ここは〇〇しよう』などアドバイスをし合っていました。

当日はちょっぴり緊張の表情でしたが、幕が上がると笑顔が見られ楽しそうにしていました。一人一人の自己発揮する様子に就学間近と感じるひと時となりました。発表会が終わってからは『うちのママ感動して泣いたんだよ』『頑張ったねって褒めてもらったよ』など嬉しそうに教えてくれました。自信が新たな意欲・活力となってくれると思います。温かい応援や拍手をありがとうございました。

☆クリスマスバイキング☆

『クリスマスバイキングまであと少し』と楽しみにしていた子どもたち。室内の飾り付けを子どもたちと行い『これはここにしよう』と楽しそうにしていました。席に座るとクリスマス用のランチョンマットが用意され『これかわいい、持って帰りたい』という子がいました。唐揚げや野菜が大人気で、いつも以上によく食べたり、お友だちとお話しながら食べたりと嬉しそうでした。バイキングが終わっても余韻に浸り、おままごとでバイキングごっこをして楽しんでいました。